

令和元年度 学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年 11 月実施分]

※生徒 11 月下旬 (23・29 日)、教員と保護者 12 月中に実施。

※ここに示す%は肯定率を表す。

【学習指導】

・生徒は授業について 84% (1 年 86%、2 年 85%、3 年 80%) (昨年 83%) が「難しい」と回答し昨年とほぼ横ばい、「授業の教え方を工夫している教員がいる」という評価は 93% (1 年 87%、2 年 97%、3 年 95%) (昨年 88%) で昨年度を上回った。今後も授業改善への取組みを続けたい。

・保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいといっている」の評価は、66% (63%) で昨年とほぼ同じであった。今後も教え方の工夫と進度・内容の検討の継続が必要である。

・本校のキャリアガイダンス (将来の進路や生き方について考える機会) については生徒の 90% (1 年 91%、2 年 90%、3 年 90%) (昨年 87%)、保護者の 91% (昨年 90%)、教員の 82% (昨年 88%) が適切であると評価している。総合学科として、総合的な探究の時間も活用し、生徒への働きかけを強化したい。

・選択科目について、3 年生徒の 74% (昨年 72%)、保護者の 86% (昨年 85%)、教員の 77% (昨年 82%) が「生徒の興味関心に応えている、期待通りであった」と評価している。さらに魅力ある科目となるよう工夫に努めたい。

【生徒指導】

・学校生活に対する意識については生徒の 75% (1 年 81%、2 年 67%、3 年 78%) (昨年 72%) が「行くのが楽しい」と回答し、また保護者の 83% (昨年 83%) が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と、どちらもほぼ横ばいであった。今後、より安全で安心な学校づくりの取組みを強化していきたい。

・保護者は本校の生徒指導に 85% (昨年 83%) が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」では、93% (1 年 92%、2 年 95%、3 年 93%) (昨年 88%)。真面目な生徒が多く、来年度も持続していきたい。また、「人権教育の機会と内容」については生徒の 87% (1 年 85%、2 年 86%、3 年 89%) (昨年 86%)、保護者の 84% (昨年 83%) が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばい。「いじめへの対応」については、生徒の 78% (1 年 81%、2 年 78%、3 年 75%) (昨年 80%)、保護者の 81% (昨年 81%) が肯定的にとらえている。いじめや体罰等の人権侵害のない学校を今後もめざしていきたい。

【学校運営】

・3 年生は 92% (昨年 88%) が総合学科を選んでよかったと評価し、77% (昨年 75%) が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、72% (昨年 72%) が「コミュニケーション能力が身についた」と評価し、前者は昨年度を上回った。総合学科

の特色の一部見直しを視野に入れ、今後も生徒の育成に励みたい。

・文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は86%（昨年87%）が活発であると評価し、生徒は文化祭に78%（1年78%、2年67%、3年88%）（昨年84%）、体育祭に77%（1年78%、2年66%、3年86%）（昨年81%）が肯定的に答えており、例年よりやや下降した。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていききたい。（（参考）行事後すぐに実施した生徒会アンケートでは、文化祭92%（昨年92%）、体育祭91%（昨年93%）が満足と答えた。）

・教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は46%（1年35%、2年48%、3年54%）（昨年45%）と、毎年低い数値になっている。これは主に担任が面談等を繰り返し行い、親身になって相談にのっている結果とも考えられる。相談（教育、キャリア、健康）体制について、今年度も生徒支援委員会の教員が交替で常駐したが、来室生徒数は少なかった。

・教員の「PTA活動へ参加している」が57%（昨年57%）であった。次年度も校内でできるPTA活動の企画や行事の内容を検討し、教職員に啓発することによって参加率を高めたい。

・教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については48%（昨年49%）であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会において、次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として情報共有、共通理解を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ず全てのデータ（電子・紙媒体）を引き継ぎ、円滑に運営が行われるようにすることが必要である。

・教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については48%（昨年54%）であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点を整理し、意見交換も十分に行われた後の開催となるため、そのような評価になると思われる。今年度も秋に「魅力ある授業」をテーマに研究協議形式の研修会をしたところ、活発な討議がなされた。来年度も、より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要があると考える。

【情報提供】

・「学校は教育情報について知らせてくれる。」については、生徒は86%（1年86%、2年84%、3年89%）（昨年84%）の肯定率である。ただし保護者は83%（昨年80%）の肯定率で、今後更なる情報提供の充実に向けて取り組みが必要である。

【環境】

・「学校の施設・設備に満足している」については、生徒63%（1年68%、2年58%、3年64%）（昨年55%）、保護者71%（昨年67%）、教員39%（昨年66%）であった。自由記述では、緊急連絡、科目選択などの意見が出た。